

会報誌 「ドローン Magazine」 2023年新年号



2023年は「癸卯(みずのと・う)」、ウサギ年です、
 12進数の子、丑、寅、卯、辰、巳、午、未、申、酉、戌、亥に合わせて
 10進数の甲、乙、丙、丁、戊、己、庚、辛、壬、癸をそれぞれ組み合わせた
 古来からの言葉遊びです、更にその意味は来年の「癸卯(みずのと・う)」を見ると、「癸」は最後の10番目である事から、物事の終わりと始まりを意味する、
 また「揆(はかる)」という文字の一部であり「種子を計る事が出来るほど成長して春には蕾が花開く直前である」という意味の様です。「卯」は「茂」と言う字が由来で「春の訪れを感じる」意味や、「卯」字の形が「門が開いている様子」を連想させる事から「冬の門が開き、飛び出る」と言う意味があると伝えられているようです。

要するに、2つの組み合わせである癸卯は、「これまでの努力が花開き、実り始めること」と言った縁起のよさを表していると言う事のようなですね。

🚁 2023年度会員継続有難うございました。🌸👍👍👍

北海道ドローン研究会も皆様のご支援と協力により出来る事を出る範囲でゆる〜く活動をしていきます、遵法精神と安全な活動でドローンの世界を拓けて行きましょう。

★2022年の活動について

今年の活動も新型コロナウイルス蔓延に伴い慎重に集会や活動を計画し、一部の活動を自粛・制限を行いながらも合間を狙って集中的な集会を行ってきました、結果月2回程度の集会等を開催し、参加を分散致しました。

★2023年度の活動について

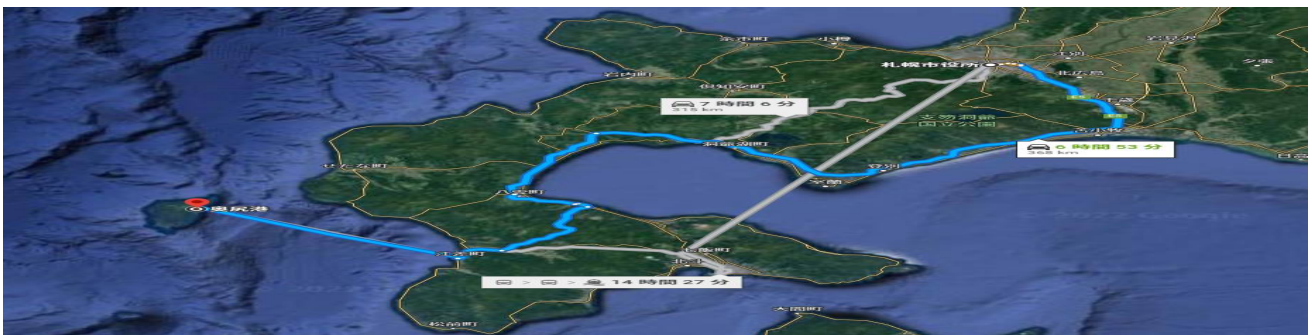
年度の最大行事である夏季合同行事を道南の奥尻島に予定し準備をしたいと思ひます、今年の活動はドローンの情報収集や飛行・空撮はもとより複合的な活動として、キャンプ、無線、釣りと言う楽しみ方は如何でしょう。

其々の事務局でも斬新な発想で集会等の計画をお願いします。

※2023年の暫定活動については前号で案内の計画をご覧ください。

★奥尻島って何処？ どんどこ？ という方 統計情報です

位置：北海道 道南せたな町帆越岬から離れる事、西に約17.5kmの離島



面積：約143km²、南北約24km、東西約10km 周囲約68km

人口：2420人（2022年）1215世帯 ※ 洞爺湖の約2倍の広さです



★2023年初飛行集会

新年の初集会は寒い盤溪で初飛行～暖かいバーナード・スクエアでゆる～い茶会でドローン雑談を計画しました、詳細は会報誌 Vol.72 で確認してください。

札幌市西区西野4条10丁目12番12号

北海道ドローン研究会事務局 ドローン Magazine 編集部 高橋

JR8YQH 事務局 (JA5KTF/8)

Clubhouse CLUB：「北海道ドローン研究会」

com@forest.ocn.ne.jp

<http://www.hds.comdrone.net/>